

公益社団法人 日本水産学会
平成 24 年度第 7 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 25 年 2 月 2 日(土) 13 時～17 時 5 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス
2 号館 2 階会議室(200B)(東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数
総数 17 名、定足数 9 名
- 4 出席理事数 17 名
(本人出席) 江口 充、金子豊二、河原栄二郎、黒倉 壽、小谷祐一、嵯峨直恆、桜井泰憲、
佐藤秀一、佐藤 實、鈴木伸洋、東海 正、古谷 研、松山倫也、鷺尾圭司、
和田時夫、渡邊良朗、渡部終五
(監事出席) 阿部宏喜、瀬川 進
(幹事出席) 舞田正志、石崎松一郎、宮本佳則、高井則之、内田圭一、大迫一史
(オブザーバー) 大越和加(理事候補者)、皆川 恵(理事候補者)
- 5 議 案
決議事項 第 1 号議案 「平成 25 年度事業計画」の件
第 2 号議案 「平成 25 年度予算」の件
第 3 号議案 「名誉会員推薦」の件
第 4 号議案 「平成 24 年度日本水産学会論文賞の決定」の件
第 5 号議案 「寄附金の使途」の件
第 6 号議案 「平成 24 年度資格喪失者」の件
第 7 号議案 「男女共同参画実態調査の解析ならびに報告書発行に関する協力」
の件
第 8 号議案 「『海とさかな』自由研究・作品コンクールへの運営委員推薦」の件
第 9 号議案 「若手研究者の活動活性化への取組」の件
第 10 号議案 「水産・海洋科学研究連絡協議会の参加及び代表の推薦」の件
第 11 号議案 「幹事手当増額」の件
第 12 号議案 「後援」の件
第 13 号議案 「入会承認」の件
報告事項 特許申請における新規性喪失の例外措置を受けるための証明書の発行取りやめ
について
寄附金について

平成 24 年度各賞の受賞者の希望による業績題目の変更について
水産学シリーズの刊行状況と今後の予定について
平成 25 年度第 1 回日本農学会評議員会と分担金について
平成 25 年度日本農学会シンポジウム実施(案)について
第 6 回理事会以降の職務執行の状況
その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭で佐藤(秀)総務担当理事が定足数の充足を確認し、続いて、同理事から本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「平成 25 年度事業計画」の件(別紙 1)

佐藤(秀)総務担当理事から、平成 25 年度事業計画について原案の説明があった。

審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で可決した。

なお、本議案について以下の質疑があった。

東海理事 「関連学会等との連携及び協力ならびに社会連携の推進事業の中で、水産技術誌刊行に係る編集・監修への協力とあるが、日本水産学会が監修を行なっているのではないか。」

和田理事 「その通りである。水産技術誌の監修とすべきである。」

阿部監事 「公益目的事業 1 の研究発表会の中で、平成 25 年 3 月開催予定の春季大会時に高校生によるポスター発表が記載されていない。」

黒倉理事 「高校生によるポスター発表は関東支部の春季大会実行委員会主催ではあるが事業計画には記載するべきであろう。」

東海理事 「高校生によるポスター発表経費は予算に計上されているので、事業計画に記載する必要がある。」

第 2 号議案 「平成 25 年度予算」の件(別紙 2)

佐藤(實)財務担当理事から平成 25 年度予算について原案の説明があった。

審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致で可決した。なお、財務の健全化に関しては、今後も継続して財務検討委員会にて審議することとした。

なお、本議案について以下の質疑があった。

渡部会長 「今回赤字として予算を組むことについては問題はないのか。」

金子理事 「現実的には赤字である。」

東海理事 「現実に沿って予算を組むべきであり、この現状を各自が認識して今後の財務健全化を考える必要がある。」

渡部会長 「財務健全化については財務検討委員会を中心に早急に議論を開始してほしい。」

第3号議案 「名誉会員推薦」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、同議案について説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致で小野征一郎、坂本 亘両会員の2名を名誉会員として定款第5条第5号に基づき社員総会に推薦することを可決した。

なお、本議案について以下の意見あった。

渡部会長 「名誉会員の推薦に当たっては、名誉会員推薦規程に従って適切な判断をしてほしい。」

第4号議案 「平成24年度日本水産学会論文賞の決定」の件(別紙3)

古谷編集担当理事から、平成24年度日本水産学会論文賞候補7件(Fisheries Science 5件、日本水産学会誌2件)の原案及び選考経過について説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第5号議案 「寄附金の使途」の件

佐藤(實)財務担当理事から、同議案について、使途の指定がない寄附金について本理事会で使途を決定したい旨説明があった。

本議案について以下の質疑があった。

渡部会長 「公益目的事業1に主として活用し、残りを事務経費として使用してはどうか。」

佐藤(實)理事 「使途が東日本大震災災害復興支援に限定されている寄附金がある。」

渡部会長 「その寄附金については東日本大震災災害復興支援検討委員会において使途を決定したい。」

審議の結果、出席理事全員一致で使途の指定がされていない寄附金の半額以上を公益目的事業1として活用し、残りを事務経費に使用することを可決した。

第6号議案 「平成24年度資格喪失者」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、平成24年度資格喪失者の原案について説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決した。なお、本事業年度末の2月末までに未納入の会費などを納入した者に対しては、資格喪失の決定を取り消すことも、合わせて決議した。

第7号議案 「男女共同参画実態調査の解析ならびに報告書発行に関する協力」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、同議案について本学会会員の調査結果を、東京海洋大学の男女共同参画推進室女性研究者支援機構に協力を依頼し、共同で解析ならびに報告書発行の作業を行いたい旨の説明があった。

本議案について以下の質疑があった。

渡部会長 「本アンケートには日本水産学会員からどの程度の回答があったのか。」

佐藤(秀)理事 「500名の参加があった。他学会と比べると、比較的多くの回答が寄せられたと思われる。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第8号議案 「『海とさかな』自由研究・作品コンクールの運営委員推薦」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、次年度に行う『海とさかな』自由研究・作品コンクールへの協力体制に関して、運営委員及び審査委員を窪川かおる会員(東京大学)に依頼したいとの説明があった。

審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決した。

第9号議案 「若手研究者の活動活性化への取組」の件

渡部会長から、日本水産学会における若手研究者の活性化に向けた活動として、今後若手の会を再度立ち上げたい旨の説明があった。

本議案について以下の質疑があった。

嵯峨理事 「北海道支部では比較的早くから若手の会の活動を行っている。予算的な援助を含め是非進めるべきであると考え。」

桜井理事 「水産海洋学会においてもいくつかの取組みを行っている。支部や地域ごとの希望を吸い上げるような方策が良いかもしれない。」

審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決し、具体的な取組の進め方は会長に一任することが議決された。

第10号議案 「水産・海洋科学研究連絡協議会の参加及び代表の推薦」の件

渡部会長から、平成25年2月27日に開催される第1回水産・海洋科学研究連絡協議会への本会からの代表を佐藤(秀)総務担当理事に依頼したい旨説明があった。

審議の結果、この代表の任期を平成25年3月末日までとして、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第11号議案 「幹事手当増額」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、平成20年度から一律10,000円削減された幹事手当について、公益法人化に伴う幹事の業務負担増に伴い、総務幹事および庶務幹事(議事録作成担当)への報酬を10,000円増額し、幹事手当として30,000円を平成24年度担当幹事から支給したい旨の提案がなされた。

本議案について以下の質疑があった。

古谷理事 「編集幹事 2 名についても業務負担が大きい。手当を増額できないか。」

佐藤(實)理事 「前々回の理事会において、編集委員会には謝金を支出しているはずだが。」

東海理事 「それは校正担当への謝金である。」

審議の結果、出席理事全員一致で総務幹事、庶務幹事(議事録作成担当)及び編集幹事 2 名に幹事手当として 30,000 円の報酬を支給することを可決した。

第 12 号議案 「後援」の件

佐藤(秀)総務担当理事から、後援希望 1 件について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援を可決した。

後援: 日本学術会議公開シンポジウム「農林水産業への地球観測・地理空間情報技術の応用」

主催 日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学
科会、食料科学委員会水産学
分科会

後援 日本森林学会 他 11 学会

日程 平成 25 年 3 月 21 日(木)

場所 日本学術会議講堂(東京都港区)

負担金 なし

第 13 号議案 「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

特許申請における新規性喪失の例外措置を受けるための証明書の発行取りやめについて
東海総務担当理事から平成 23 年の特許法第 30 条の改正に伴い、特許申請における
新規性喪失の例外措置を受けるための証明書の発行を取りやめることが報告された。な
お、今後は個人で申請することになる。

佐藤(實)理事 「例外措置の内容に変更はないのか。」

東海理事 「出願人自らによる証明書が特許出願日から 30 日以内に提出されれば良いこと
になる。発表前に特許出願するのが原則である。」

寄附金について

佐藤(實)財務担当理事から、非会員(匿名希望)より 100,000 円(平成 25 年 1 月 18 日
付)の寄附金を受け入れたことが報告された。

平成 24 年度各賞の受賞者の希望による業績題目の変更について

佐藤(實)学会賞担当理事から、平成 24 年度水産学進歩賞及び水産学技術賞の業績題目を受賞者の希望により変更したことが報告された。

水産学シリーズの刊行状況と今後の予定について

金子出版担当理事から、水産学シリーズ No.175 及び 176 が平成 25 年 3 月に、No.177 および 178 が平成 25 年 9 月に、No.179 が平成 26 年 3 月にそれぞれ刊行する予定であることが報告された。なお、水産学シリーズは今後 No.190 をもって打ち切りとすることも報告された。

平成 25 年度第 1 回日本農学会評議員会と分担金について

佐藤(秀)総務担当理事から、平成 25 年 1 月 25 日に開催された平成 25 年度第 1 回日本農学会評議員会において、平成 25 年度の分担金が 233,450 円であることが報告された。なお、昨年度の分担金は 239,550 円であった。

平成 25 年度日本農学会シンポジウム実施(案)について

佐藤(秀)総務担当理事から、平成 25 年 10 月 5 日に平成 25 年度日本農学会シンポジウムが実施される旨報告された。

第 6 回理事会以降の職務執行の状況

・科研費細目再編関連

桜井担当理事から、学会賞細目の見直しを現在行っている旨の説明があった。

・水産政策関連

黒倉担当理事から、水産政策委員会として福島県における漁業の再開時についての対応を準備している旨の報告があった。

・水産技術誌関連

和田担当理事から、水産技術誌第 5 巻 2 巻が印刷中であること及び次号は予定より早く刊行することが報告された。

・将来計画関連

和田担当理事から、震災関連の案件について論点整理を行っていることが報告された。

・水産利用関連

佐藤(實)担当理事から、第 2 回講演会を平成 25 年 2 月 12 日に開催予定であることが報告された。

・国際交流関連

古谷担当理事から、現在日本水産学会創立 80 周年記念シンポジウムの準備を進めていることが報告された。

・シンポジウム企画関連

渡邊担当理事から、今春の大会では、シンポジウム 2 件、ミニシンポジウム 2 件、今秋の大

会ではシンポジウム 1 件、ミニシンポジウム 3 件が開催予定であることが報告された。

・漁業懇話会関連

渡邊担当理事から、平成 25 年 3 月 26 日にグローバル人材育成への ODA 活用と題した講演会を行う予定であることが報告された。

・水圏環境関連

鷺尾担当理事から、沿岸環境関連学会連絡協議会第 8 回ジョイントシンポジウムが本日、開催中であることが報告された。

・水産教育関連

黒倉担当理事から、JABEE 離れの傾向があることに関連して、そのあり方について新たに検討する時期にきているとの認識があり、今後水産学教育推進委員会で議論することになっていることが報告された。

・ベルソーブックス関連

東海担当理事から、平成 24 年 12 月 21 日に開催されたベルソーブックス委員会において、市場性を考慮した場合企画が採択されないケースがあり、今後企画の見直しを検討していくことが報告された。

・企画広報関連

東海担当理事から、平成 25 年 1 月 8 日に開催された企画広報委員会でシンポジウム及びミニシンポジウム記録の入稿が遅れる例がみられ、なんらかの対応が必要であることが報告された。

・増養殖関連

佐藤(秀)担当理事から、平成 25 年 2 月 9 日に第 2 回講演会を開催することが報告された。

・震災復興関連

渡部会長から、過去の活動記録を HP にアップしたこと及びその記録集を今後、冊子化する方向であることが報告された。さらに、これまで学会誌に掲載された放射能に関する論文を取りまとめ、各方面にアピールしていくことも計画中であるとの報告があった。

・支部関連

嵯峨理事(北海道支部担当)から、平成 24 年度支部大会が平成 24 年 12 月 14 日及び 15 日に開催されたことが報告された。

小谷理事(東北支部担当)から、平成 25 年 2 月 1 日に支部例会が開催されたことが報告された。

黒倉理事(関東支部担当)から、次年度の支部活動について現在検討中であることが報告された。

鈴木理事(中部支部担当)から、平成 25 年度支部担当が三重大学に代わること及び支部大会を秋季大会期間中に行うことが報告された。

江口理事(近畿支部担当)から、平成 24 年 12 月 1 日に幹事会及び支部例会を開催したこと及び平成 25 年度については 7 月に前期支部例会を行う予定であることが報告された。

河原理事(中国・四国支部担当)から、平成 25 年度の支部例会の企画を準備中であることが報告された。

松山理事(九州支部担当)から、平成 25 年 1 月 26 日に支部総会及び支部大会が開催されたこと及び平成 25 年度においては 6 月頃に幹事会及び担当機関がない県でのシンポジウムの開催を計画中であることが報告された。

その他

・学会賞受賞者講演の座長と会場係について

佐藤(秀)総務担当理事から、平成 25 年度日本水産学会春季大会時に開催される各学会賞受賞者講演の日程について説明があり、各講演の座長および会場係を確認した。

・支部長賞の規定について

東海総務理事から支部長賞の規定を理事会で承認する必要性について説明があり、該当する支部から支部長賞に関する規定を整理して事務局に提出することが確認された。

・日本国際賞授賞式への招待者推薦について

渡部会長から、平成 25 年 4 月 24 日に開催される国際科学技術財団主催の日本国際賞授賞式への招待者推薦依頼があったことが報告された。

・書籍の寄贈について

渡部会長から、株式会社日本水産から 100 年誌の書籍の寄贈があったことが報告された。

・次回理事会の開催について

渡部会長より、次回平成 25 年度第 1 回理事会は平成 25 年 3 月 9 日(土)13 時から、国立大学法人東京海洋大学で開催する予定である旨確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17 時 5 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 25 年 2 月 2 日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監 事

監 事